

リーディングセミナー オーガナイザー報告書



氏名・学年	伊藤 聡
セミナー名	第 23 回リーディングセミナー
開催日時/場所	2017 年 12 月 8 日/北大獣医講堂

講演 タイトル	African Swine Fever (ASF) Outline
講演者名	Jose-Manuel Sanchez-Vizcaino Rodriguez
職名/所属/国	教授/マドリッド大学/スペイン

招聘経緯・ 理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 招聘者の紹介 ・ 担当者が何故、招聘を希望したか？ ・ 招聘にあたってのコンタクトについて <p>アフリカ豚コレラウイルスの研究で著名なマドリッド大学の教授であり、彼の研究室は世界に 3 つしかないアフリカ豚コレラ (ASF) の OIE リファレンスラボラトリーに選定されている。我が国において ASF の発生は未だ無い。しかしながら、近隣諸国の一つであるロシアでは多くの ASF 発生があり、豚肉関連製品・家畜豚を輸入している我が国にも ASF の侵入リスクが高まっている。Jose 教授は 30 年以上 ASF を研究し、アフリカ・ヨーロッパでの業績も高く評価されている。我々は侵入に備えて何を知るべきで、何をすべきなのか、それらを知るために今回招聘した。招聘にあたってのコンタクトについて、最初は Dean 名義の招待状をメールで送り、コンタクトを始めた。メールが届かないことがあったが、共通の知人を介して連絡することでスムーズにやり取りが出来た。</p>
セミナー、 質 疑 応 答 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー内容の概略 ・ 参加状況/セミナーの形式 ・ 質疑応答の状況 <p>大半の出席者は ASF という疾病を知らないの、ウイルス学的知見（原因ウイルス・臨床症状）や免疫学的知見（ワクチン開発や病理所見）、疫学的知見（世界での発生状況と拡大原因）を含む基礎的な内容から、応用編となる最先端の話（日本における侵入リスクはどうか、ロシアの現状はどうか）まで触れた内容であった。参加者は全学生の 6-7 割程度といった印象であった。2 時間のセミナーのうち 1 時間半を講義・質疑応答とし、後半 30 分はパネルディスカッションとした。微生物学教室の迫田先生と、危機分析・対応室の磯田先生をパネリストに迎え、日本における ASF の侵入リスクについて、更に詳しく議論した。質問は特にアフリカ・アジアの留学生から多く出ており、その質問内容が実践的であったことから各国の本疾病に対する関心の高さが窺えた。</p>
セ ミ ナー 外の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー外でどのような活動を行ったか <p>交流会、研究室内ディスカッションなど</p> <p>セミナー外の活動はほとんどディスカッションに充てられた。議論の対象は日本だけでなく、ザンビアを含むアフリカの現状とこれからの対策について議論を交わした。迫田先生のご厚意で、来札していたデンマークの研究者 (ASF の研究も行っている)、Jose 教授、磯田先生とともに昼食を食べた。養豚先進国が現状をどのようにとらえ、どのような対策を講じるのかを知るとも良い機会になった。</p>
反省点・ 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 反省点 ・ セミナーを運営して学んだ事、今後活かそう那点など <p>海外から人を招聘することがどれほど難しいかということ学んだ。特に今回のセミナーは冬季であり、天候も不安定であったので、かなり念を入れて行動する必要があった。リーディング関係者の方々のお力添えなくして成しえなかったセミナーであった。初めての事だったので大変ではあったが、今回の来札を機に共同研究のお話をいただいた。大変光栄なことであり、共同研究の内容も、将来やりたいと思っていたことだったので、今回の招聘にあたって得た大きな成果の一つであると思っている。</p>

各項目のスペースは変更可

写真等は自由に添付可、オーガナイザーの写真は右上に添付

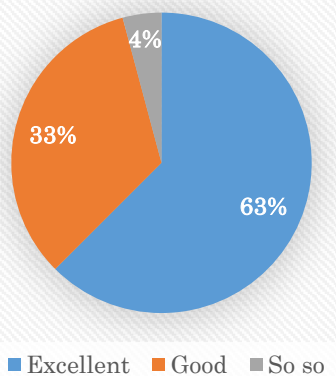
項目を決めて箇条書きしてもらおう 1 枚以内

Participant Feedback Questionnaire of African Swine Fever Seminar

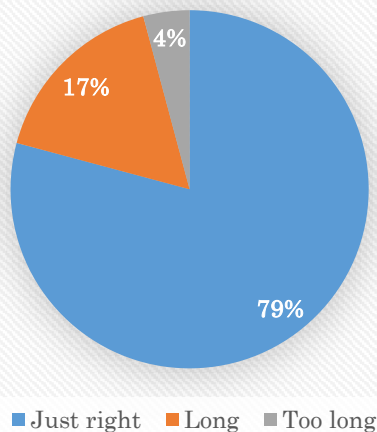
以下に今回の学生アンケートの結果とコメントを記載する。

アンケートに対する返答数は合計 24 通であった。

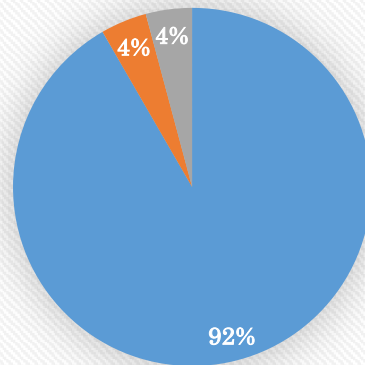
Overall satisfaction of the seminar



Overall length of the seminar

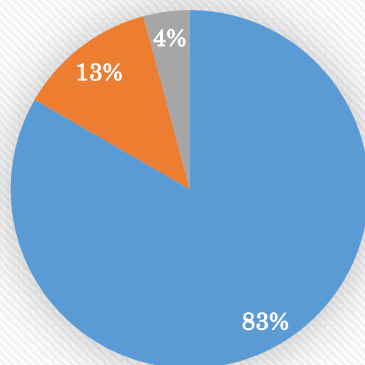


Understandability of the lecture



■ Just right ■ Easy ■ Difficult

Did you get new knowledge ?



■ Sufficiently ■ Partly ■ Not at all

Comments from Audience

- Informative and relevant
- The presenter talked situation in Japan as well as world situation. and confirmed our understanding one by one.
- The presenter had excellent command of the topic
- Discussion session was great to share speaker's experiences to the audiences
- I've learned many new things
- His talk was easy to catch and exciting
- interesting and understandable
- Clear and simple explanation, Global approaches would have been more appreciated by more.
- I've got interesting topics about disease control and how to deal with government
- It is very happy to me to talk about the situation in Japan.
- I can clearly understand why Japanese researchers need to care about African swine fever.
- It was good chance to heard from major researcher
- I want to know which approach is better for disease control: bottom up (from communities to government) of top down (from government to communities)
- It was broad and contained all I needed to hear
- I could learn the epidemiological study and risk analysis for ASF, but if we have longer time, I'd like to know more basic study of ASF and information about CSF because we have few chance to study them.
- I prefer discussion part with other Prof of our school who have work related with seminar theme. It might good to give more time for discussion
- Excellent organization. Keep it up.
- This was the best leading seminar ever for me.
- Thank you very much, the lecture was interesting,